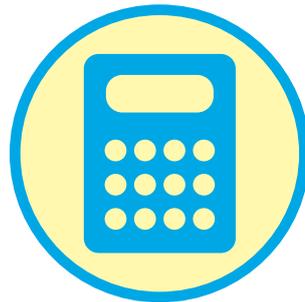
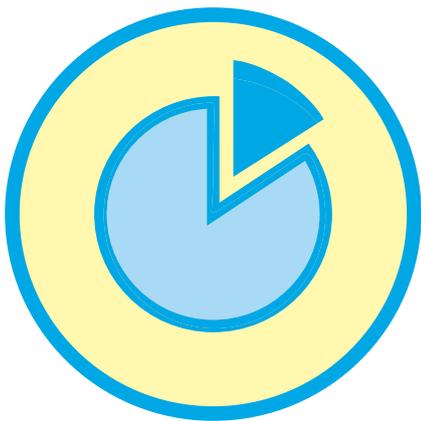


令和4年度 予算特集



旭市の財政を分かりやすく解説します

問い合わせ先
財政課財政班 (☎62-5316)

令和4年度当初予算 一般会計予算は 287億1,000万円

予算とは1年間の収入(歳入)、支出(歳出)の計画のことです。

予算を見ればこの1年間、どのくらいの収入が見込めて、何にいくら使うのかが分かります。

旭市の会計には、一般会計と4つの特別会計と3つの企業会計があります。会計はお金の出し入れを行う財布のようなもので、それぞれの会計ごとに予算が組まれ、運営されています。予算総額は494億3,925万1千円で、内訳は一般会計が287億1,000万円、特別会計は4会計を合わせて177億6,500万円、企業会計は3会計を合わせて29億6,425万1千円です。



一般会計、特別会計、企業会計の3種類のお財布

一般会計	福祉や教育、道路整備など、市の基本的な事業を行うための会計	令和4年度予算 287億1,000万円	前年度予算 298億9,000万円
------	-------------------------------	------------------------	----------------------

特別会計	国民健康保険のように、保険料を徴収して特定の事業に充てている場合など、一般会計と区別する必要がある事業の会計		令和4年度予算 177億6,500万円	前年度予算 174億1,500万円
	内 訳	病院事業債管理	25億9,100万円	27億9,400万円
		国民健康保険事業	事業勘定 89億円	84億8,000万円
			施設勘定 8,200万円	8,400万円
		後期高齢者医療	7億8,500万円	7億4,800万円
介護保険事業	54億 700万円	53億 900万円		

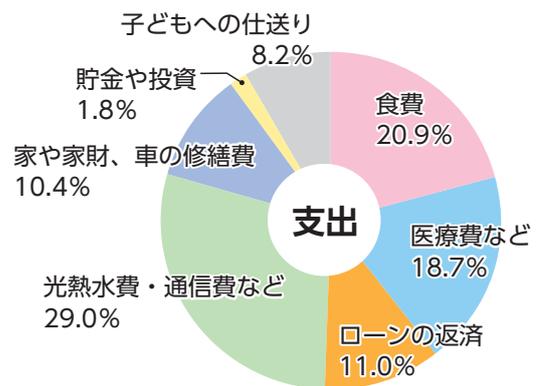
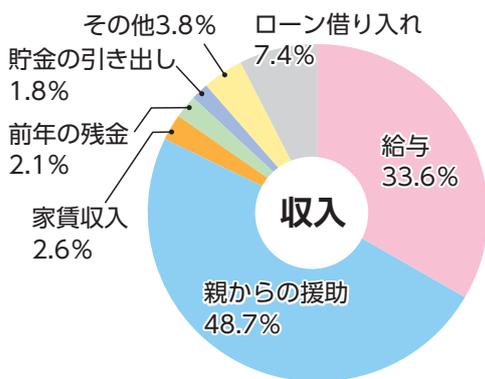
企業会計	民間企業のように、利用料金などの収益で運営している事業の会計		令和4年度予算 29億6,425万1千円	前年度予算 25億5,198万円
	内 訳	水道事業	19億3,139万7千円	16億3,935万円
		公共下水道事業	9億1,308万9千円	8億2,589万2千円
		農業集落排水事業	1億1,976万5千円	8,673万8千円

市の予算を家計に置き換えてみると

旭市の一般会計の予算額287億1,000万円を、年収552万円*の家計に置き換えてみました。

*令和元年国民生活基礎調査の1世帯当たりの平均所得金額552万円を参考に算出。

収入		支出	
給与 (市税・地方譲与税・その他交付金)	185万円	食費 (人件費)*1	115万円
親からの仕送り (地方交付税・国県支出金)	269万円	医療費など (扶助費)*2	103万円
家賃収入 (分担金・負担金・使用料および手数料・財産収入など)	15万円	ローンの返済 (公債費)*3	61万円
前年の残金 (繰越金)	11万円	光熱水費や通信費など (物件費・補助費等)*4、*5	160万円
貯金の引き出し (繰入金)	10万円	家や家財、車の修繕費 (維持補修費・普通建設事業費など)*6	58万円
その他 (寄付金・諸収入)	21万円	貯金や投資 (積立金・投資および出資金・貸付金・その他)	10万円
ローン借入れ (市債)	41万円	子どもへの仕送り (繰出金)*7	45万円
合計	552万円	合計	552万円

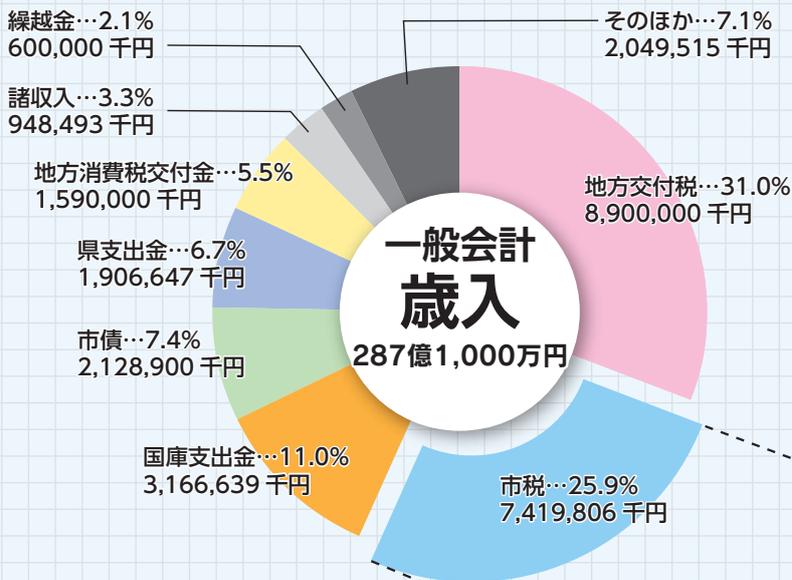


- *1 人件費…市職員の給与や手当などを支払うための経費
- *2 扶助費…医療に関する経費や、生活保護・児童手当の給付、私立保育園の運営補助などにかかる経費
- *3 公債費…国や金融機関から借りたお金の返済にかかる経費
- *4 物件費…電気料金や消耗品の購入費、委託料など
- *5 補助費等…各種団体に対する補助にかかる経費
- *6 維持補修費・普通建設事業費…道路や公園、学校など公共施設の建設や改修などにかかる経費
- *7 繰出金…特別会計の歳入を補うための経費

歳入の内訳

一般会計の歳入の内訳を見ましょう

市税は74億1,980万6千円。新型コロナウイルス感染症による影響などはあるものの、近年の市民税・固定資産税などの傾向から、前年度と比べ2億5,402万7千円(3.5%)増額の見込みです。地方交付税は89億円。そのうち普通交付税は79億円で、前年度と比べ5億3千万円(7.2%)増額の見込みです。また、特別交付税は10億円で、対象経費の減などにより、前年度と比べ5千万円(4.8%)減額の見込みです。国庫支出金は31億6,663万9千円で、前年度と比べ8,183万円(2.5%)の減。県支出金は19億664万7千円で、前年度と比べ6,950万5千円(3.8%)の増としています。



使い道が決まっている市税とは？

旭市の市税には、固定資産税をはじめ7種類の税があります。そのうち、都市計画税と入湯税は、その使いみちが決められている目的税です。都市計画税は、都市計画事業または土地区画整理事業に、入湯税は、消防施設や観光施設の整備および観光の振興などに要する経費に活用しています。



市民1人当たりが
納める市税
116,000円

※1,000円未満四捨五入

市税予算額74億1,980万6千円÷
人口63,859人(R4.3.1現在)

市税の内訳



固定資産税
3,059,703千円



個人市民税
2,975,875千円

市たばこ税	511,783千円	軽自動車税	236,310千円
法人市民税	372,847千円	入湯税	7,806千円
都市計画税	255,482千円		

※都市計画税は、都市計画区域内(旭地域)の土地や建物に課税されています。

なぜ、市は借金をしているの？

学校や公園など、公共施設の整備には多額の費用が必要です。これら公共施設の整備に必要な費用を1年間の予算で賄うと、その1年はほかの事業ができなくなってしまいます。

また、学校や公園などの公共施設は長い期間利用するので、1年間の予算で整備してしまうと、将来の市民は整備費用の負担なしに利用できることになります。

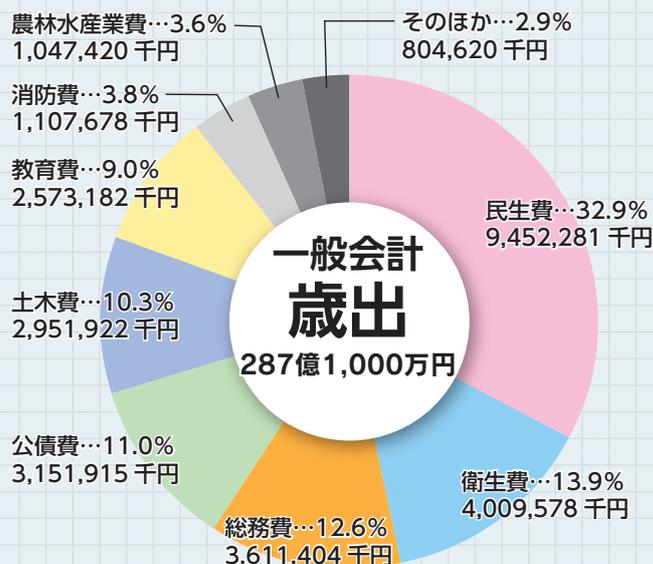
そこで、市は市債を発行(借金)して、整備した年の市民の負担を小さくし、翌年以降に返済していきます。これにより施設を利用する全ての世代の市民に、整備費用を公平に負担してもらうことができます。



歳出の内訳

一般会計の歳出の内訳を見てみましょう

一般会計当初予算における目的別歳出では、民生費が最も多く全体の32.9%を占め、子育て支援や福祉サービスなどに活用されます。続く衛生費は13.9%で市民の健康やごみ処理などの公衆衛生に活用されます。総務費は12.6%で庁舎管理やコミュニティバスの運行などに活用されます。市の借金の返済費である公債費は全体の11.0%となっています。土木費は全体の10.3%で道路や排水路の整備などに、教育費は9.0%で教育環境の充実やスポーツ施設の整備などに活用されます。



市民1人当たり
に使われるお金
450,000円

※1,000円未満四捨五入

一般会計予算額287億1,000万円 ÷
人口63,859人 (R4.3.1現在)

市民1人当たりに使われるお金の内訳



民生費
148,000円



衛生費
62,800円



総務費
56,600円

公債費	49,400円	農林水産業費	16,400円
土木費	46,200円	商工費	7,100円
教育費	40,300円	議会費	3,500円
消防費	17,300円	その他	2,000円

消費税率と地方消費税率の引き上げ分は、社会保障関係経費に活用

消費税率(国・地方)は、平成26年4月1日に8%、令和元年10月1日に10%へ引き上げられました。これらの引き上げに伴う地方消費税交付金の増収分は、高齢者、障害者、児童の福祉など社会保障施策の経費に活用しています。

- 引き上げ分の地方消費税収入(地方消費税交付金)：8億5,000万円
- 社会保障4経費、その他社会保障施策に要する経費：110億1,725万3千円

※社会保障4経費とは、年金、医療、介護の社会保障給付金や、少子化に対処するための施設に要する経費です。

令和4年度の主な事業

「旭市総合戦略」4つの基本目標に基づく事業

令和4年度当初予算の主な事業を「旭市総合戦略」の4つの基本目標ごとに紹介します。

(拡)…拡充事業

(新)…新規事業

① 魅力ある雇用を創出し、安心して働けるまちづくり

農水産業の振興、商工業の振興、観光振興のための事業など

(拡) 商業活性化推進事業…………… 78,878千円

商店街の活性化や商業振興を図るため、空き店舗の活用者や商工業後継者の育成を支援します。またプレミアム付共通商品券発行事業や、商店街が実施するイベント事業などに助成します。

(拡) 観光資源創出プロモーション事業……………7,432千円

新たな観光資源の創出や観光キャンペーンの実施、インストリーム広告やマスコミなどを活用した観光と特産品のPRを行います。また、観光事業者などとの連携による着地型(体験型)観光を推進します。

(拡) 観光施設管理費…………… 62,072千円

観光施設の運営・維持管理に努め、利用者に安全で衛生的なふれあいの場を提供します。今年度から、飯岡刑部岬展望館～光と風～も市の管理となります。

(拡) 観光イベント事業…………… 28,188千円

観光の振興と地域活性化のため、各種観光イベントの支援を行います。



市をPRするラッピングバス

(拡) 新規就農総合支援事業…………… 43,112千円

新規就農者の確保と育成を図るため、親元就農チャレンジ支援金助成など総合的に支援し、就農後の継続支援も行います。

今年度より、市外から転入して本市で農業を始めようとする若者などの、雇用就農期間中の家賃を助成します。

水田農業構造改革推進事業…………… 175,794千円

水田農業の安定経営を図るため、需要に即した米作りを推進します。食料自給率と食料自給力を維持向上するため、飼料用作物などへの転換を図る農家を支援します。

(拡) 家畜防疫対策事業…………… 43,975千円

家畜伝染病の発生とまん延を予防するため、ワクチンの接種などに助成します。今年度から、家畜防疫用消毒薬などの購入も助成の対象とします。

(拡) 畜産環境フレッシュ事業…………… 10,000千円

畜産由来の臭気を軽減させるため、家畜排せつ物の消臭効果のある飼料添加物や、臭気の拡散防止効果のある資材の導入に助成します。今年度から、市内全ての畜産農家に対象を拡大します。

農業水利施設改修事業…………… 58,849千円

農業用排水施設の機能の長寿命化などを行い、農村環境の維持と向上を図るとともに、施設の長寿命化や改修に取り組む団体を支援します。

② 結婚・出産・子育ての希望がかない、誰もが生きがいを持てるまちづくり

子育て支援の充実、地域福祉の充実、学校教育や生涯学習充実のための事業など

(拡) 感染症予防対策事業…………… 173,589千円

感染症予防のため、各種予防接種を実施します。また、インフルエンザ任意接種費用と新型コロナウイルス感染症の集団感染を防ぐための、検査費用の助成を継続します。

(拡) 妊婦・乳幼児健康診査事業…………… 58,739千円

妊娠初期から安定期に健診を受け健康管理に役立てるため、費用の助成を行います。また、乳幼児の疾病の早期発見のため各種健康診査を行い、併せて育児についての相談を行います。

今年度から、弱視などの早期発見を図るため、3歳児健康診査の視力検査に屈折検査を追加します。

自立支援給付事業…………… 1,353,188千円

障害者と障害児がその有する能力や適性に応じ、自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、障害福祉サービスに関する給付や支援を行います。

子ども医療費助成事業…………… 231,524千円

子育て家庭への経済的な支援として、18歳までの子どもを対象に、通院や入院に要した医療保険適用の医療費を助成します。

出産祝金支給事業…………… 28,800千円

次代を担う子どもたちの健全育成と人口増加による市の活性化のため、市民の出産を奨励し祝福する祝金として、第2子10万円、第3子以降20万円を支給します。

乳幼児紙おむつ給付事業…………… 28,486千円

子育て家庭の経済的負担を軽減し、安心して子どもを育てられる環境づくりのため、2歳未満の乳幼児を養育している人を対象に、月額3,000円分の紙おむつ購入券を支給します。

(新) 医療的ケア児保育支援事業…………… 23,674千円

日常生活を営むために人工呼吸器の装着や喀痰吸引などの医療的ケアを要する児童が、保育所などの利用を希望する場合に、受け入れ可能な体制を整備することで医療的ケア児の地域生活を支援します。

放課後児童クラブ運営事業…………… 150,845千円

共働き家庭などの留守家庭の児童に対して、放課後に適切な遊びや生活の場を与え、健全な育成と子育て支援を図ります。

教育の情報化推進事業…………… 103,588千円

タブレットなどのICT(情報通信技術)を活用して児童生徒の学力向上を図るため、環境整備や教材・機材の整備、教職員のICT活用支援研修などを行います。

(拡) 小学校教諭補助員配置事業…………… 45,021千円

教諭補助員を各小学校に配置し、児童の基礎学力向上を図り、個に応じたきめ細やかな指導を行います。

今年度から英語コミュニケーション能力の向上を図るため、英語教諭補助員(JTE)を増員します。

(拡) 中学校英語指導助手配置事業…………… 51,333千円

英語を母国語とする外国青年を、外国語指導助手(ALT)として各中学校に配置します。今年度から英語教育のさらなる充実と国際交流の促進を図るため、外国語指導助手(ALT)を増員します。



今年度オープンするサッカー場

(拡) 文化振興事業…………… 11,483千円

市民の文化意識の高揚を図るため、コンサート、演芸などの各種文化振興事業を実施します。

今年度から、市への関心を深め郷土愛を育てる「ふるさと文芸事業」を行います。

サッカー場整備事業…………… 20,250千円

多目的に利用できるサッカー場の整備・運営を行います。また、スポーツを通じて人々の交流を促進し、市の活性化を図ります。

ひとの定着・還流・移住
③の流れをつくり、人々が集うまちづくり
定住交流の促進、安全で快適な道路の整備、良好な生活環境形成のための事業など

(拡) 広報活動費…………… 26,998千円

市政に関する情報などを分かりやすく速やかに提供し、市政への理解を得るとともに、広報紙の発行やウェブサイトの運営、市勢を紹介する冊子の作成などを行い、市民と協働のまちづくりを促進します。

新たにSNSを活用する市政情報発信ツールを整備し、子育て支援などの情報発信を行います。

ふるさと応援寄附推進事業…………… 63,083千円

市への寄付者に特産品や体験型の返礼品を提供することで、市の魅力を全国に発信し、知名度の向上や産業の活性化、関係人口の増加を図るとともに財源の確保に努めます。

(新) 移住・定住促進事業…………… 57,321千円

定住を目的とした転入者や市内在住の若者世帯に対し、住宅取得時に費用の一部として奨励金を交付します。

また、移住コーディネーターとして地域おこし協力隊を活用し、地域の魅力の再発見やそのPRなどを行う移住サポートセンターを設置します。

(新) シティプロモーション推進事業…………… 15,725千円

市政情報を発信し市の魅力をPRします。また、映画やドラマなどの作品の舞台を訪れてもらうロケツーリズムを推進し、地域の活性化を図ります。

(拡) スポーツ振興事業…………… 22,804千円

各種スポーツイベントや各種団体への支援を行い、スポーツ振興を図ります。

また、誰でも自由に、自ら進んで参加できるあさひスポーツフェスティバルを開催するとともに、向太陽杯を家族や友人と一緒に参加できるように内容を改め、市民がスポーツに親しむ環境を整え、スポーツを通じた健康増進と地域の絆づくりを図ります。

(拡) 園芸用廃プラスチック処理対策事業…… 10,877千円

環境に配慮した施設園芸の産地確立を図るため、市の補助金を拡充し、園芸用廃プラスチックの円滑な回収と適切な処理を行います。

道路新設改良事業…………… 332,776千円

道路の安全性や利便性の向上を図るため、地区・住民の要望、利用状況などを勘案し、道路拡幅や道路側溝などの整備、舗装新設を行います。

蛇園南地区排水路整備事業…………… 124,030千円

蛇園南地区の道路冠水被害を改善し、当地域の安全・安心な生活環境の向上を図るため、排水路を整備します。

飯岡海上連絡道三川蛇園線整備事業……… 450,715千円

地域経済の活性化や地域間交流のため、国道126号から、主要地方道銚子・旭線を結ぶ道路を整備します。

南堀之内バイパス整備事業…………… 136,600千円

地域経済の活性化と生活基盤の充実のため、国道126号から、主要地方道大栄・栗源・干潟線までを結ぶ幹線道路を整備します。

冠水対策排水整備事業…………… 132,770千円

道路冠水が多発する地域において、効果的で経済的な排水整備を実施し、集中豪雨や台風などによる浸水の解消や緩和を図ります。

(拡) 都市計画総務事務費…………… 19,628千円

均衡あるまちづくりを計画的に進めるため、市全域を視

野に都市計画の見直しを図ります。

住宅リフォーム補助事業…………… 25,000千円

居住環境の向上と市内の経済活性化を目的として、市民が市内施工業者を利用して行ったリフォーム費用の一部を助成します。

(拡) 空き家等対策推進事業…………… 6,809千円

地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしている空き家などの解消と、発生抑制・活用につながる施策を総合的にを行います。

**将来にわたって元気な地域
④をつくり、安全・安心で暮
らしやすいまちづくり**

震災からの復興、防災力の強化、行政経営推進のための事業など

コミュニティバス等運行事業…………… 76,873千円

高齢者などの移動手段を確保し、市民の積極的な社会参加と公共交通の充実を図ります。

(新) 消防庁舎整備事業…………… 19,759千円

海上分署と飯岡分署を統合した統合分署を新築します。人員を集約し、迅速で多種多様な出動態勢を整え、海上・飯岡地域への出動体制の強化を図ります。

消防施設整備事業…………… 36,705千円

地震などの大規模災害発生時の消防力の強化を図るため、耐震性貯水槽・消火栓の新設や、消防水利の安全管理と維持補修を行います。

家族介護用品給付事業…………… 6,334千円

介護している家族の身体的・精神的・経済的な負担を軽減し、在宅生活の継続・向上を図るため、認知症高齢者や日常生活で介護を要する人に紙おむつなどを給付します。

震災復興・津波避難道路整備事業……… 313,833千円

飯岡地区と津波避難場所である飯岡中を結ぶ路線を整備します。また、椎名内地区と災害拠点病院、防災拠点である旭中央病院を結ぶ路線の整備をします。

①から④の全てに関連する事業

生涯活躍のまち形成事業…………… 148,480千円

人口減少と少子高齢化に歯止めをかけるため、国の推進する「生涯活躍のまち」構想に基づき、旭中央病院から連携拠点である季楽里あさひを構想エリアとし、元気な高齢者を中心とする都市住民の誘致と、雇用の創出による若年世代の流出抑制、流入促進を実現し、市全体の活性化を図ります。

このページを抜き取って利用してください。



南堀之内バイパス整備